

平成24年第5回中津川市教育委員会定例会議事録（要旨）

日 時 平成24年4月27日（金） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 田島 雅子 小幡 隆徳 横井 晃

松田 幸博 大井 文高

事務職員	山内事務局次長 岩久教育次長兼学校教育課長 内木子育て支援対策監兼幼児教育課長 市岡文化スポーツ部次長兼図書館対策監 鈴木発達支援センターつくしんぼ所長 牧野国体推進室長兼スポーツ課長 末木文化振興課長 松岡東美濃ふれあいセンター所長	原文化スポーツ部長 今井教育企画課長 和田教育研修所長 幸脇阿木高等学校事務長 田島発達相談室長 田口生涯学習課長 早川鉱物博物館長 小林図書館長
------	--	--

会議日程

- 1 開 会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教 育 長 報 告
- 4 議 事
- 5 閉 会

番 号	議 題	結 果
報第4号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
議第11号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について	承 認
議第12号	中津川市教育委員会の附属機関等の委員の委嘱又は任命について	承 認

〔開 会〕

〔議 事〕

【田島委員長】議事に入ります。日程第1報第3号「専決処分の承認を求めることについて」、説明をお願いします。

【内木幼児教育課長】幼稚園の夏季休業日変更にもない中津川市幼稚園管理規則の一部を改正するものです。

【田島委員長】ご意見ご質問等をいただきたいと思います。

【横井委員】なぜ小中の管理規程の改正と同時に出てこなかったのですか。

【山内事務局長】当時、幼稚園のことは頭になく幼稚園は8月でもいいと考えていました。中の連絡がうまくいかず大変申し訳ないです。

【横井委員】説明の中に保護者の負担軽減という話がありました。軽減という言葉は合わないような気がします。

【内木幼児教育課長】働く父兄保護者の立場からということで考えました。幼稚園でも預からせていただいて父兄保護者の方は就労していただくという点から、そういう説明をさせていただきました。

【横井委員】小中学校につきましては授業日数の関係がございまして、今回、夏休みを減らして授業に当てるということで改正が行われたわけですが、幼稚園についても同じような説明をしないと、負担軽減という言葉というのは恐らく小学校へお兄ちゃんお姉ちゃんが行っているということかもしれませんが、幼稚園だけのお子さんだと正直言って休みが無くなると預かっていただく時間が短くなるという判断があると思いますので、その辺りしっかり説明しないとまずいと思います。

【田島委員長】確かに負担軽減という言葉は難しいかもしれませんね。上の小学校と合わせる負担は軽減されるとは思いますが、一人だけ預かっていただくところで言葉づかいが難しいかもしれません。

【内木幼児教育課長】委員のおっしゃる通りですので、説明に当たってはそういう形で説明させていただきたいと思います。

【横井委員】今回の議案につきましては専決でございますので、それについて異議はございませんが、保護者等の皆さんに説明する場合にしっかり小中の管理規則と合うような形で説明していただくようお願いしたいと思います。

【田島委員長】それでは慎重をお願いします。

【小幡委員】もし暑さ対策みたいな形もできているなら、それを含めて幼稚園も説明したらどうかと思います。

【山内事務局長】まだどうすると決めていませんが、昨年、教育長に協力いただきましてミストなどをさせていただきましたので、そういう対策を幼稚園でもやっていけばかなりいいのかなという気がします。遊戯室にはエアコンを付けさせていただきます。それで少しでも対策できればと思います。

【田島委員長】教育長さんにもがんばっていただいて、よろしくをお願いします。

他にご意見ないようでございますので、報第3号「専決処分の承認を求めることについて」は、承認とさせていただきます。

日程第2議第12号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」、説明をお願いします。

【今井教育企画課長、原文化スポーツ部長】〔資料に基づき説明〕

【田島委員長】ご意見ご質問をいただきたいと思います。

【横井委員】第一中学校の今回終了した部分でお披露目があったとき、地域の方がいらして、相当樹木を伐採したことが、見晴らしが良くなったという方向じゃなく言われることが若干ありました。これについては地域の方も入っていただいて検討した結果と説明したら、収まったんですが、恐らく今後学校のそういった環境については地域のシビアな感覚を持っていらっしゃると思いますので、単独で進めるのではなく十分地域の方と話し合いをいろいろな形でしていただきながら進めていただくことが大事だと思います。第一中学校はやっていただきましたので、強く感じました。

【田島委員長】一中の時は多くの方々を呼んで、いろいろと話し合いをされた経緯も聞いております。ありがとうございます。

【今井教育企画課長】第一中学校のワークショップで、生徒の皆さん、地域の皆さん、PTAの皆さんに参加をいただき、いろいろなテーマを設けどんな学校にこれからしていきたいかへの答えを作っていただきました。それに沿って作っていったということで、先ほどおっしゃられたいろいろある中でもそういった過程を踏んだということで、我々の中でもベストの方向を進めたのかなと考えております。その経験を生かして、現在加子母中学校でもワークショップを進めております。また、加子母はいろいろな意見が多くて、まとめることも難航している部分もありますが、やはりいろいろな意見の中で作り上げるということが、将来使ってくれる人たちから見て価値あるものになっていくと考えておりますので、これからの事業についてもどんどん地域の方のご意見を取り入れる場を作っていきたいと考えております。

【田島委員長】ワークショップはとても画期的なもので、ワークショップをやったということはずばらしいのですが、多分それが地域の方々に浸透してないからこういうお話もあったのではないかと思います。やりっぱなしではなく後のケアもよろしくをお願いします。他にありませんか。

【松田委員】一中の大規模改修の件ですが、どこをどうするという図面などはこれから出てくるのですか。

【今井教育企画課長】予定では6月の議会で契約について、承認をいただくということで今進めています。来月の教育委員会には議案として出させていただく方向で準備を進めていますので、その際には図面を持ってまいります。

【松田委員】一中は校舎から体育館へ行く階段が非常に危ないというのと、雪や雨の日は濡れてしまうので大規模改修の中で何かいい方法が出来ればいいなと思ったので、その辺のご配慮

があればいいと思います。未定なのか、それともほぼできてしまっているのか、その辺はどうかなのでしょう。

【今井教育企画課長】図面は相当に出来上がっております。体育館へ行く道には屋根を付けますが露天です。新しい校舎の脇からの廊下が今までよりは少し短くなると思いますが、絶対的には距離がありますので、高低差もそうは解消しない部分もあります。

【松田委員】もう一つは図書館についてです。今、新聞、チラシなどでも出ていますが、建設しなかった場合の費用が憶測でいろいろ出ています。もしできない場合の費用は一体いくらかかるのかというのを、市民の皆さんにも示していかないといけないと思いますが、私は図書館を是非作って欲しいと思っておりませんが、やはりその辺りは情報をしっかり開示していく必要もあると思います。その辺りは一体いつ出るのか、分かればお聞きしたいのですが。

【原文化スポーツ部長】図書館の建設に向け市民への周知が遅れているところです。先ほど文化スポーツ部の動きの中で市長の政治判断が5月1日にあるということです。それ以前に市民に報告する予定でしたが、お知らせしてもすぐ市長の発表があるのでタイミングは計りかねています。今後、正式には臨時の5月7日の記者会見でその方向を市民に周知するわけです。その結果を受けて、再度、例えば建設中止にした時点の返還金、国の補助金等についてはある程度数字が見込めるわけですが、正式につかめていない状況です。はっきりと数字をつかんでいない状況では出せないという政治判断があり、市民には周知していません。今後5月7日の記者会見以降に文化スポーツ部としては速やか数字を出してお知らせしてまいりたいと思っています。

【松田委員】やはりしっかりした数字を出して、市長の判断も重要かもしれませんが、市民の財産ですし市民の税金も使うわけですので、その辺はきちんと出して今までも市民の意見をいろいろ聞いてきましたが、はっきりした数字を持って開示していくことが大事だと思います。

【田島委員長】非常に微妙な話です。5月1日の市長の話と7日の記者会見待ちということで、それから出てくるということですね。

【原文化スポーツ部長】5月1日に市長の表明がございます。それを受けて、教育委員会の皆さんにも5月7日以前に一度連絡させていただきたいと思っておりますのでよろしく願います。

【田島委員長】分かりました。他にご意見、ご質問はございませんか。

【横井委員】加子母の中学校の大規模改造補強工事事業の中で、多分屋内運動場も含まれていると思いますが、前市長の思いがあって学校の体育館を防災対策上の避難所にしたいという方針で恐らく今回も検討されているのかなと思います。教育委員会として教育の施設の充実を図るのが私たちの仕事だと思いますが、それを防災も含めて教育費でやるのは話の筋が違うと思うんですが。新市長に代わられたということもありますが、今後体育館の改造等の場合はどういった方針でやるおつもりでしょうか。

【今井教育企画課長】今回の第一中学校と加子母中学校については、防災施設としてのモデル事業としての位置付けで取り組んでいます。モデル事業ということであれば検証もしなければ

ならないということもありまして、どういった部分が今後役に立つだろうかといったことも検討には入れる予定です。今後の体育館などの施設の改修につきましては、検証に間に合う部分があれば、良かった点について取り入れることになってくるだろうと思っておりますし、今回の事業の中で過度であってあまり用をなさないという部分があれば省いていくと思っております。

【田島委員長】その費用についての考え方はどうでしょうか。

【今井教育企画課長】費用につきましては、文科省の補助事業のメニューの中にも防災施設としての補助要件が、昨年から急に増えてきました。防災施設としての充実で文科省からいただける部分はいただくことで対処していきたいと思っております。文科省では補助率が3分の1というのが多いですが、社会資本整備事業では2分の1といった事業も国の中ではあるわけですね。もちろん市民にとっては必要な部分については、市の財政をにらみながら有利な補助を獲得していくことが必要です。

【横井委員】去年の3. 11の時も多く学校の体育館が避難所として使われて、子どもたちが使えないという部分がありまして、これは状況にもよると思うんですけど、基本的に私どもは教育委員会ですので、子どもたちの学習、運動を含めて一番いい状況が優先されるべきだと考えています。ですから、防災の機能があまり全面に出たものじゃなくて、是非子どもたちを中心に施設を考えていただきたいということだけです。

【田島委員長】他にありませんか。

それでは、議第12号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」は承認とさせていただきます。

続きまして、日程第3議第13号「中津川市教育委員会の附属機関等の委員の委嘱又は任命について」、お願いします。

【今井教育企画課長】〔資料に基づき説明〕

【田島委員長】問題はないということで、よろしいでしょうか。

それでは、議第13号「中津川市教育委員会の附属機関等の委員の委嘱又は任命について」は、承認とさせていただきます。

これをもちまして、平成24年第5回中津川市教育委員会を閉会とさせていただきます。

〔閉 会〕